

講義コード		授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	英語Ⅲ							通年	
履修前提条件						備考			
授業の目的	1年で学んだ基礎的内容を応用し、英語学習の四つの側面（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）とプレゼンテーションスキルなど、オールラウンドな英語運用能力の向上を目指す。将来、国際社会に生きる社会人として相応しい、より高度で実践的な読解、作文、聴解、会話力などを身につける授業を行なう。TOEICでは1年のときより高い得点を取得し、就職試験の準備に役立てることを目標とする。								
到達目標	以下のうち、4つ程度を選択し、目標達成することを目指す。 1. 語彙数を大学1年レベルより300～500語程度は増やす。 2. 英文をすばやく読むために必要な正確な文法を習得する。 3. 応用的で、難易度の高い英文まで読めるようになる。 4. リスニングでは、会話やアナウンスの内容を詳細に理解でき、ディクテーションもできる。 5. 聞き取った内容について意見やコメントを述べたり、書いたりすることができる。 6. 自然な英語の発話リズムを身につける。7. TOEICでは、1年より高いスコアを目指す。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	1. 次の授業に向けて教科書等を読み、理解する。 2. 担当講師から与えられた課題を行う。 3. 単語等、前回学習した内容を復習する。 4. 大学のWebClassが提供するe-learningを活用する。 5. テレビ、ラジオなどの語学講座や、インターネット上の英語関連サイト、参考書等を有効に使う。 上記の学修を30時間以上行うこと。								
授業計画	【第1回】～【第15回】①リーディング・リスニングを中心に、基礎的能力を確認しつつ応用力を養う。それに伴い、スピーキング、ライティングの応用能力も適宜習得する。②TOEICの問題傾向に慣れる。 【第16回】TOEIC 団体試験受験直前対策 【第17回】～【第30回】①リーディング・リスニングを中心に、応用的テクニックを習得する。それに伴い、スピーキング、ライティングの応用能力も適宜習得する。②よりハイレベルなTOEIC対策を行う。								
成績評価の方法	期末、小テスト等の各種テスト（60%）、授業への参加態度（40%）								
フィードバックの内容									
教科書	各担当講師の指示に従う。								
指定図書	『TOEIC 新公式問題集 Vol. 6』Educational Testing Service（著）、国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会（編集）（国際ビジネスコミュニケーション協会）2014年								
参考書									
教員からのお知らせ	①教科書や辞書は担当の先生の指示に従ってください。②大学のWecClassが提供するe-learningを積極的に活用してください。TOEICのe-learningを利用した場合の評価基準は、各担当の先生に確認してください。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									